（明治四十三年）一月二十一日（金曜日）　第三百十四號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久静一郎
發行所　京城西小門通（電話六六三）　京城新報社

論説

關税案の要意　櫻井關税局長談

▲國定税率　關税改正案は悉く國定税率を定めあるのみにて曾に傳へらる〻如く協定税率なるものに非ず

▲單税率制　英國定税率は所謂單税率制にして最低及び最高兩率を設くる複税率制に依らず

▲協定税率　斯くの如く單税率的國定税率を定め置くとも通商各國との交渉に依りて協定税率の代り行はる〻場合あるは勿論なり

▲最惠國的約款　米國は對手國等に備へ定税率を定むるの例なるも歐洲大陸其他の文明國は殆んど總べて最惠國的協定税制を執りつ〻あり日本亦從來其制に依りしが今回の改正案に於ても無論之に準據し居れり

▲報復的税制　自國品に不當なる關税を爲し若くは相當の便宜を與へざる對手國の品に對する報復的税制は改正案に於ても依然存在す

▲從量主義　改正案に於ては從量從價孰れにも偏せず努めて各品目の實際上の便宜と課税上の公平を期して適當に兩主義を採用したるも其結果大部分從量税となりたるを以て之れを從量主義なりと云はば云ひ得ざるに非ざる可し但し米國に行はる〻一品目に對しての兩制併用制の如きは複雜面倒にして且つ其必要なきに依り改正案には之れを採らず

▲兩制の比較　兩制併用は米國のみにて其他の先進諸國は近來著しく所謂從量主義に傾き來り纔に少數の劣等國のみ今尚所謂從價主義を採用しつ〻あるも我改正案は必らずしも殊更に先進諸國の例に模倣したるには非ず

日銀增資發表

日本銀行にては來月十九日臨時株主總會を開き左の如く營業年限を延長し資本金を六千萬圓に增加する事に決定し十五日發表したり

一本行の營業年限を明治七十五年十月九日まで延長することとし其許可を政府に請願する事

一本行現在の資本金三千万圓へ更に金三千万圓を增加し新株を發行することとし其許可を政府に請願する事

此方法

第一項　增加資本は之を十五万株に分ち一株の金額を二百圓とする事

第二項　新株一株に付金五十圓宛總計金七百五十万圓は新株式總數の引受者たるときに直に拂込を行ふ事

第三項　株主にして新株を引受けたる者にありては前項の拂込金は明治四十二年下半季決算に由る特別割賦金を以て振替充當する事

第四項　新株は各株主をして其持株の數に應じて引受けしむ即ち明治四十三年二月一日現在の持株一個に付新株一個を引受くる事

第五項　新株引受申込證は明治四十三年三月二十四日迄に到達する樣差出さしむる事若し同日迄に申込證の到達せざるときは其不足新株の募集方法は重役集會に一任する事

以上の如く發表されたる日銀增資方法中第三項の特別割賦金とあるは日銀が普通の營業收入以外先年買收したる公債を時價に換算して昨年下半期に於ける同行の利益となしたる特別收益を指すものにして昨年下半期の當該收益總額は約八百万圓なりと傳へらる而して現在株主にて株引受希望のものは前記割賦金を以て振換充當する事を得とあれば坐ら現在の株主は其所有株に比例して新株の持主たる事を得るは第四項所載の如し即ち新株二百圓株一株に付金五十圓宛總計七百五十萬圓の拂込は前記特別收益八百萬圓を以て振換へ得べきを以て增資新株に屬する十五萬株は全く現在株主の持株に歸する譯なるが第五項中特に「其不足新株の募集方法を重役集會に一任す」とあるは万一を慮かりてなるべし而して新株二百圓中自餘四分の三の拂込は向後一般財界の状況を見て實行せらるべきは勿論也

倫敦銅價低落

聯米國に於て生産制限の趣旨に因る銅業者のシンジケート組織談起るや倫敦銅相場は漸次上向きとなり六十二磅を持續したりしが本月十三日に至り二志六片の下落を來し直物六十一磅六志六片となり十四日には直物先物とも更らに十志方下落し直物六十磅十志七片先物六十一磅十五志電氣銅六十三磅五志に低落したりと云ふ而して低落の原因は未だ判明せざると雖も倫敦貯銅の減少を見ざるに拘はらず過般來相場の上向き一方なりし其の反動ならんと觀測さる

海運業の活氣

昨春以來各方面とも海運業は不振を極め資本寡少の船主は破綻の狀態に瀕したるものも少なからざるが昨年末に至り韓大豆の輸出盛大に赴き十二月中仁川穀物市場に於て本邦各地に輸出したる大豆は二十六萬石以上に及びたる程にて之れが爲め大阪商船會社の定期船四隻のみにては何不足を告ぐるより同會社にては更らに二隻社外雇入船二隻を增加し尼崎汽船に於ても亦臨時船一隻を增すに至りたるが今後木浦群山地方よりの輸出もあり益々不足を訴ふる姿となりたれば大阪商船會社は本月中更らに臨時船五隻を增加するの計畫中なりと茲に於て昨年來不振を重ね來りし韓國海々運業は漸く光明を認むるを得るに至りたり要するに韓國沿岸の運業が昨年に於て著るしく不振を呈したるは本邦に於て船舶の濫增したると一昨年度に於ける韓國農産の不況なりしに基因するものなれば今年は海運業の頓みに活氣を呈したるは當然の事たるべし

●渡米檢疫の新方針

本邦渡米者の檢疫は一昨年日米兩當局の共同的檢査に從事し居る事なるが然るに米國檢疫官は所謂米國式にて移民たりと雖も一等船客として渡航するものは再渡航者若しくは米國に於て出生したるものと同樣病氣の有無に拘はらず檢査を免る〻れども我が立會官は素より技術上の立場より檢査なるものなれば二三等船客中檢査に不合格となり渡航し得ざるため一等船客に繰り上げたるものは勿論假令再渡航者と雖も移民として渡航するものを檢査するや否や日米兩當官との間に見解を異にし居る問題なりしが今回外務省にては移民として渡航するものは船客の上下を問はず總て檢査を執行する事に決定したりと

日本銘刀傳　第廿四席　邑井一 講演

正「何處で取られたか分らんか　猪「此席に御出でになるれ方は、料理屋の御主人、此の方の家で一杯御酒を飲んで居りました、そこでは確かにあつたと思ふて居りましたが、何處で取られましたか、取られる位でございますから、其邊の所は確と判りません、れ料理屋は何程と聞くに、二貫文と幾ら之れを拂はんければ、出立させることが出來ないと云ふ、金を取られて仕舞つて、一文も持合せがございませんから、京都へ歸つてから御返し申しますから、夫れまで待つてと、タッて頼入れましたが、此のれ方は聞入れません、そんなら京都へ手紙を出して取寄せる間、泊つて下さいと申したけれども、夫れも成らぬと云ふので、今夜此家へ泊り込むとは、ヅー〳〵しい、安宿へ泊れ其位の錢はあるだらうから、と云ふ此のれ方の云ひ草、なれども私は生れて其樣安宿へ泊つたことは無いので、當惑致して居ります、所で飛んだことを耳に入れ恐れ入りました　正「夫れは可憫想だ、併しれ前も能くない、京都の藝などを連れて大和廻りに來るなんて、夫れからして大業たことで、夫れに何うも只喰倒して行かうの、逃げやうのつて、さうはさせません、金を貰はねうちは、此の人を手放すことは出來ません、ナーニ是から先きの費用は、皆先方持ちですから、構ひません」正「ウム成程勘定を貰はないうちは、歸らぬと斯う云ふのぢやな……、れ前もさうぢや三十兩と云へば、大金じやないか、夫れを只紛失したと云ふ丈けで、詮議もせずに置くと云ふ法があるものか、途中で取られたのか、夫れとも茶屋へ行つた時には確にあつたのか　猪「茶屋へ參りました時には、確かにあつたやうに覺ねます　正「ツム……彼男は種屋の手代とも云はる〻者が、大阪へ商賣に出て居ながら、舞子などを連れて旅行と云ふのは宜しくないぞ　正「恐れ入ります　正「アヽ、れ前は何ぢや（）「ハイ俺は松本屋金八と申す料理屋の主人でございます　正「何處じやね奈良かね　金「奈良は奈良でも、三笠山の傍でございます　正「れ前の家は料理屋なられ前の家へ止めて、夫れから飛脚を立てゝ、金を呼ぶとか何うかしたら宜さそうなものじやの　金「何うも手前共では其樣ことは致しません、ヘヱ、、、全体堅氣の商人は、商賣のためなら三歩や一兩は、立替も致しますが、婦人何んぢや　猪「彼男は京都から連れて參りました舞子の伴でございます　正「アヽ、酒の座敷なぞで、何か藝當をして、酒宴を取持つのか、何う云ふ名じや貴樣は　舞「ヘヱ私は舞子の一八と申します者でヘヱ　正「ハヽ、成程貴樣の客のことじやから、料理代や何かは貴樣が立替て遣したら宜からう　一八「ヘヽ、、手前は何んでも余す錢は百文も持ちません、大和廻りから歸つたら、樂いれ金にならうと喜んで居りましたな、誰になんでれます、三文れますけれど、外には何も持合しません」三文とやア案錢にも足りない　正「一八とやら、其の方は金の紛失したのを知つて居るか　一八「夫れは何んでれます、れ茶屋へ揚りましてな、樂い酒がはづんで、陽氣に成つたさかい、此の旦那はんが、れ茶屋の者に祝儀を遣ると云ひなはれて、紙入を探しなはる時にな、何うしたのやら、紙入がないと云ふことが分りましたのや、初めてれ茶屋へ揚りました時は、確かにありましたやうに覺ねてれます　正「左樣かコレ亭主、貴樣の家で無なつたものなら、貴樣の家を能く調べて違つたら何うじや　金八「へヱ能く調べましたので、ヘヱ手前の家には一人も怪しい者は使つて居りません、全体此のれ方が持つて來ないのでございませう　正「其の座敷には大勢居たのか　金八「ソレは何んでございます、且那さんに、此席にれ在なさるれ連の二人の外、女中が一人居ました丈けでございます　正「其の女中と云ふは何者か　一八「こいつアれ家の仲居さんでれはしてな、家に居りまへう」正宗は流石天下の名人と稱はれる位だから夫れと察して　正「私は人相を見る事に於ては古今の名人ぢや、幼い時分から易學の方を學んだ、思ふ仔細もあれば、其女中を此席へ呼んで呉れんか、私が人相を見て遣はすであらう　猪「夫れでは是非一つ見て戴きたうございます」



廣告

滿洲劇の開幕(八)

韓半島に及ぼす影響

京城新報

異の米國人乃ちヤンキーは實際獨逸國を以て米國を危ふするものと信じて居る、若しも不幸にして一朝米獨戰爭の起るあらば如何、我國合衆國市民たる二百萬餘の獨逸移住民は果して銃劍を把つてカイザルに抗すべきや否や？之がヤンキーの憂慮措く能はざるところである、記者往年ワシントンに在て之を米外交家某氏に聞いた、各國の大公使等府に在るものにして厄介ならざるもの一人もあらず而かも獨逸の大使の如く厄介なるは非ず、其譯を問へば曰く駐米獨逸大使は米國市民權を有する二百有餘萬自國移住民の長たり、彼は常に巧妙に且つ大膽に獨逸移住民を操縱し外交其他總ての用に彼等の勢力を利用するを以てなりと、嗚呼獨逸の爲には賀すべし、米國の爲には悲しむべし、此一事を以てもヤンキーが獨逸國を厭ふのは無理の無い話である。日露戰役中米人が我國に向つて同情を寄せて居た事は記者の米國に在つて目擊した事實である、聖路易世界博覽會に於て日本館只り米人に歡迎せられ露西亞館が顧られなかつたのは事實である、我捷戰の報傳はる毎に上は白宮の主人を始め下走卒に到る迄日本萬歲を唱へたのは事實である、而るに何事ぞポートマス平和條約調印後未だ幾許もあらずして太平洋岸に排日の火の手が徐々に上り始めたとは、米國太平洋岸の代表者は加洲である、其加洲の代表者は桑港である、此桑港は人口と富とに於て政治上社會上獨逸移住民の最も勢力を有する所であるのである、果然學童問題が起された、之を起したのは桑港市長たる獨逸人シュミッドで同問題に就ての彼の後援者は當時市參事會員の多數を占めた獨逸人で在つたのである、學童問題は實に云ふにも足らぬ小問題であつた併し此一小問題こそ嘉永以來最も親善なりし日米兩國間の國交に忌むべき傷を負はせた最初の者であるのである、シュミッド以下有力なる獨逸移住民は何も知らぬ勞働者や無智の下層市民を煽動して大に躁いだ、彌次馬に彌次馬が加はつて遂に黄色紙の紙面を賑かす問題となつた、在桑港の我領事は手古摺つた、我靑木大使は面喰つた、併し黄禍論作者の在ワシントン代表者は微笑を漏した、彼の指先はシュミッドを操つり正に効を收めつゝあるのである。我大使シユウゾウ、アオキは前にも云つた通り獨逸の女を娶らせる半獨逸人である、彼が在米獨逸大使及び其家族と懇親にして日夕往來し外交事務に就ても互に話相手となつて居た事は事實である、一小問題なる學童一件に關して我靑木が前後の辨も無く至つて强硬なる態度を以て突飛なる抗議を米國政府に出たは全く黄禍論作者の代表者からシヤクラレた結果であるのである、非常識なる靑木は一小地方問題を國際問題にして仕舞つた米國の輿論は問題其者よりは靑木の非常識なる態度に就て沸騰した彼が他日召還さるゝこととなつたのも全く其因を茲に有するのだ、シヤクラレた靑木は素より馬鹿である、併しシヤクツた人の其人の陰險さは亦格別と云ふべしである、シユミッドと靑木は靈の如く動いた、斯くして學童問題は日米疎隔の種となつた、腹黑き黄禍論作者の離間策は遂に成功した。

東京電報

▲我政府の回答期　我政府は米國の滿洲鐵道中立案提議を拒絕する筈にて案文起草中なるが回答期は一兩日中なりと(二十日)

▲曾禰統監の歸期　曾禰統監は諸般政務の打合を了し二月下旬歸韓すべし(同上)

▲露國の提案拒絕　露國政府は米國政府の提議に對し全然拒絕の回答を爲せし旨大使館より公報ありたり(同上)

▲醫術試驗の廢止　醫術開業試驗は明治四十七年限り斷然廢止すと(同上)

▲臨時派遣隊更代　臨時韓國派遣隊の一部は三月末歸還し其補充として各師團より一中隊宛派遣せらるべし(同上)

▲出張所火災損害　既電統監府出張所火災に就ては秘密書類は悉皆持出したる由なるが全體の損害は四萬圓位なりと(同上)

▲韓太子小田原行　韓太子には二十二日小田原に避寒せらるべく本日仰出されたり(同上)

▲士官學校新入生　本年五月陸軍士官學校に入學せしむべき人員は七百五十名なり(同上)

▲曾禰統監片瀨行　曾禰統監は十九日午後新橋發片瀨別莊に赴けり

北京電報

▲淸國と中立問題　中立問題に對する各國の態度判明するに從ひ其一部を除き淸國人民は斯る提議の到底實行すべきに非ず且つ將來術一層の紛擾を惹起すものとなし進んで米國の眞意を疑ふに至れり(十九日)

漢城政界の近狀

李總理遭難以來徙らに安閑たる如き漢城の政界は寧ろ不思議の現象と謂ふべし然れども是は唯だ既報の如く外面の假裝にして少しく其裏面を窺へば魑魅魍魎[illegible]の觀あり而して斯かる狀態は漢城政界特有の常にして必ず怪むに足らず即ち是れ伏魔殿の眞相と謂ふべきか此際各政派の近狀を摘記せん

▲大韓協會は從來李內閣攻擊の態度[illegible]不倶戴天の仇敵の如く絶叫せる聲は俄に蠶散霧消して君子豹變的方針を以て進行せるものゝ如し現に朴齊純の門下李啓台なるものに目を含めて秋波を現[illegible]の後援なくんば到底內閣の地盤固からざる所以を悲鳴し譜に國會を結び付けんと巧み二三日來幹部と內閣側との往復頻々たりと而して內閣側も亦此緩頰に動かされ就中內相は最も首肯し居れるが如しとの報ありれ目出度さ加減も捏造なれば却つて愛嬌あり

▲一進會は第十に見捨てられて以來樹から落ちたる猿の如く宛然始めは脫兎の如く終りは處女の如き觀あり唯だ李容九の[illegible]に喘ぎながら合併ならば死を以て之に抗爭せん杯と怪談を吐きつゝあるを多とするのみ而して國會の禦深地は寧ろ日本に在り故に其態度の如きも彼の所謂死せんと欲するも死する能はず生きんと欲するも生きる能はざる苦境にありと謂つべし

▲其他の諸團に至りては畢竟利あれば合し利なければ離るゝ底の落武者流にして三々伍々温突室內に鳩首し過去の位置履歷を追懷して不平を洩らし居るのみ何等纏まりたる定見あるに非ず彼の屢々傳へらるゝ內閣役割坏の滑稽は此輩の產物なり(寄通)

地方行政統一問題

日韓地方行政統一說は例の地方行政調査委員會開設以前の問題にして何れも其必要を否認するものなく偶々同會の設立により一層其議を高めしめ其後同會の繼續問題として屢々附議せられたり然るに地方行政の合併を實行したる曉中央部の統一を如何すべき乎との議論起りたるが遂に同會の範圍外に涉ればとて問題とならず結局地方行政研究の範圍に止めて討議し其形式を如何すべきか又合併後の政務を何れに負擔して可なるや或は又日韓何れに統一すべきかに就き目下研究中なり而して聞く處によれば兩者の統一は必ずしも協約の如き主權的形式を要せず統監の權能を以て之を斷行し得べく又統一後の組織は理事官として韓國側地方長官を兼ねしむるに到るべしと尙ほ之に伴ふ各種の困難問題湧起し居れば前途多少の時日を要すべきが現に統監の斷せらる中央統一問題と共に決せらるべしと

●韓鐵期成委員推撰　韓鐵期成同盟會は昨二十日午後六時より京城日本人商業會議所樓上に集合し對議會運動委員の推薦を行ふ由なるが其際推薦すべき委員は二名とし其一名は在韓日本人商業會議所聯合會を代表して曩に決議せる米穀關稅撤廢問題を擔任せしめ他の一名を同會の代表者たらしむる筈なり之が費用は既收の寄附金千圓あり更に千圓を寄附に募る都合なるが易々として成立すべき委員希望者數名ある爲め即決困難なるべく結局詮衡委員を設けて之に一任せん形勢なり而して委員會の意向は古城民長又は和田民會議長の出京を希望するもの多きも兩氏は民團の事情之を許さゞるより已むなく中村常一、山口太兵衛、戶叶薰雄、曾我勉、中島司馬之助、大村保太、山口會議所書記の諸氏を候補に充て此中より推薦せらるべしと聞く

●米輸入稅反對運動　既報の如く一昨十九日午後二時より中村、曾我、山口、萩谷の諸氏京城商業會議所に會合して外米輸入稅反對運動の爲め委員を東上せしむるや否やに就きて協議したるが京城商業會議所の意見としては委員を東上せしむるの必要は認むるも經費の出所に關しては一應各地商業會議所と打合せを要するを以て昨二十日京城商業會議所より電報を以て各地へ照會したる筈なり

●仁川銀行金融狀況　仁川三銀行支店に於ける客年十二月中の金融狀況を數字の上に示せば如左

諸手形取扱高

種目	仕向高	被仕向高
送金手形	一〇四七、一八〇四圓	一、一三一、八〇七圓
荷爲替間	三八二、六七八	四四、九四六
地所割引代金取立手形	一〇六、八七九	三〇六、九七九

預金取扱高

種目	預入高	月末現在高
諸預金	三、六四一、一七五	一、三五三、四〇〇

貸金取扱高

種目	貸出高	月末現在
諸貸附金	二、二五七、三三三	二、五一九、三三五

金利

	最高	最低	普通
貸付日步	三六	二〇	三四
割引日步	三六	三二	三五

●移住漁業と未墾地　國有未墾地利用法に依りて未墾地の利用を出願する者あるときは政府に於て適當なりと認むる者に對しては場所の如何に拘はらず從來一般に之を許可したるも漁業法實施以來政府に於ては移住漁業を獎勵する爲め沿岸の國有未墾地は可成漁業基地とする方針にて漁業に關係ある者に沿岸の未墾地利用を許可する方針を採り既に水產局と農務局の間に於て協商成立したりと云ふ

●慶州の農產品評會　慶尙北道慶州郡第一回農產物品評會を客臘十二日より二十七日迄十日間郡衙に於て開催せしが出品總數五十三點審查長として勸業模範場より戶來技師臨席したり而して永井郡守署理各面を巡回して勸誘せる結果遠近相率ひて圍繞し日々數百名に達したるが一般農民を啓發したる事尠少ならざりし由

●沿岸に警邏船新設　本年度に於て韓國沿岸取締上仁川、釜山、元山、淸津、木浦の五箇所に警邏船新設の議あり臨時費にて千五百圓即ち一箇所に付三百圓宛なるが經常費にて水夫給月廿圓を豫算に計上しあり目下警務局より前記各警察署へ照會中

●三銀行荷爲替扱高　仁川三銀行に於て客月中穀物に對する荷爲替取扱高は三十六萬五千三百廿三圓にして同擔保貸出高は十九万三千八百廿九圓、同割引手形高十万九千六百八十九圓、同有價證券擔保貸出月末殘高は十六萬九千七百七十五圓なりしと

●地方費と道路修繕　地方費の土木費中にて道路修繕に關するものは出來得る限り韓國在來の美風たる夫役によつて修繕改築を行ひ橋梁架設等己むを得ざるものに對してのみ費用を投ずる方針なりと云ふ

●福島中將の來京期　目下南滿洲視察の途にある參謀本部次長福島中將は二十三日安東縣到着二十四日朝新義州驛出發同日午後十時三十分南大門驛着入京すべき豫定なりと

●市內消火栓の增設　火災防禦の爲め其筋にて豫て水道會社と契約を結び京城市內百六十二個所の消火栓を設置する筈にて既に百三十九箇所は成功し殘餘廿三箇所を剩すのみなりしが內十六箇所は此程竣功せりと

●增員と官制の變更　主事、警視、警部、翻譯官補等に關する國費豫算通過したるを以て右增員に準じ地方官々制も變更せられたり

●朴泳孝の馬山移住　朴泳孝は十九日午前十時家族從者十一名と共に濟州島を發し廿日朝木浦へ着し直ちに馬山へ向け船便にて急行せり

●地方行政の調查會　地方行政調查委員會は昨二十日午後一時より統監府會議室に於て開催され前會繼續の宿題を討議したりと

●武田鑛業所長訪府　新任平壤鑛業所長武田少將は昨二十日午前十一時統監府に石塚總務長官を訪問して數刻會談したりと

●山根侍從武官訪問　御慰問使山根侍從武官は今二十一日午前十一時統監府を訪問すべしと云ふ

韓銀瞥見錄(二)

スイロオ生

▲記者は前號に於て韓國銀行が內地に於ける爲替の決濟及非常準備金として三百萬圓を第一銀行東京本店に預入しあることを記述したり、之れ木村營業局長に聞きたるところを其儘記述したるなり、而れども記者は木村氏の言を全部信ずる譯には行かざるなり。

▲木村氏京城日報記者に語りて三百萬圓の遊金ありと云ふ、記者に語つて該三百萬圓は東京第一本店に預入しありと云ふ、而して預入しある理由は前號に於て述べたるが如し、之を遊金と稱し何時にても貸出若しくは手形割引等に流用する能はざるは勿論なり、否夫のみならず記者は假令木村氏の言なりとは云へ目下の韓國銀行は三百万圓の貨幣を第一銀行に預入しあるほどに餘裕あるものとは信ぜざるなり、其次第は次に記述すべし。

▲韓國銀行現在の貸借勘定表に因れば成程木村氏の言ふが如く三百萬圓許りの貸之部殘高あり、而れども此三百萬圓中には日本銀行より借入たる地金買入資金五十萬圓あり、發行部の手は離れたるも未だ市場に出てずして本店及び各支店の保管に屬する銀行券百萬圓あり、此外度支部より借入たる建築資金百二十萬圓の支出殘額六十萬圓あり、以上三口を合算せば實に二百十萬圓となる、此二百十萬圓は銀行の勝手に流用し得る遊金には非ず、而るに木村氏叨りに之を呼んで遊金と稱す、素人騙ましの言も茲に到つて極れりと云ふべし。

▲記者の見る所を有體に表白すれば目下韓銀の第一本店に預入しある金額は百萬圓を越へざるべく、若し其以上ありとすれば其は他店に對する爲替の未拂金、建築資金の未支出分及地金買入資金等なるべし、苟くも堂々たる大韓國の中央銀行が嚴正の意味に於て一圓の貸出資金をも有せず內地に於ける爲替決濟資金及び非常準備金を遣繰算段にて間に合せ居るとは何人も夢想せざるところなるべく、株主及び公衆は聞て情無く感ずるところなるべし。

●人物分布觀　人物分布觀は大阪每日記者大庭柯公君の著なり、其收むるところ二府十七縣に亘り、其地方と其地出生の人物との關係、說得て妙を極めしむ、書中最も記者の注意を惹きしは南豐後と福澤翁との關係の條にして著者の筆能く之を寫し三田偉人の風貌爲に躍如たるものあり、柯公元來觀察に銳く其銳き觀察眼を有する彼は簡潔なる筆を有す、兩者相待つて生れ出たるもの實に此人物分布觀なり、一讀人をして卷を掩ふ能はさらしむ決して故なきに非ざるなり、發行所大坂杉本梁江堂(定價金六十錢)

●佐賀縣人新年會　在京佐賀縣人は十九日午後五時より花月樓に於て新年宴會兼春季懇親會を催ふしたり出席者は山邊安住兩司法部書記官中牟田山林局技師山本農務課長中村砲兵大尉外五十餘名にして頗る盛會を極め美妓紅裙相亂れて餘興あり茶番狂言あり歡聲湧くが如き裡に散會せるは午後十一時なりき因みに同夜縣人の委員を選擧したるが名譽會長に菊地博士を會長に國分太郎副會長に釘本藤次郎評議員に岡與一前田熊市田代宗次郎大坪文吉石隈信乃雄貞島品吉の諸氏を推薦したりと

●技術官增聘費目　本年度地方費中韓官吏費の一項は技術官增聘に要する費目にして日人主事は地方費に關する會計若くは事務取扱をなす者の外一切日人主事を增聘せざる方針なりと云ふ

●藤原書記官東上　度支部書記官藤原正文氏は第一回韓銀總會に參會の爲め二十三日出發東上の筈なりと云ふ

●三宅判事の移轉　判事三宅長策氏は大韓醫院通新築官舍へ移轉したり

公人私人

▲武田消澄(江景財務主任)十九日入京

▲楢谷親三郎(前通譯官)同上三日月投

▲武川盛次(韓銀大邱支配人)同巴城館

▲永島巖(平壤控訴院長)十九日歸任

韓國沿海の航路

[illegible]



拳骨 （十）

「其の金穀なる事故に血道を上げて遂ひ納めた美術事件の生徒で二人の青年があつた、互ひに鎬ぎを削つて醜の爭ひとして訣み合つて居たが那人が到頭に勝つて [illegible] 一方の青年は即ち案山子に [illegible] 北海道二君で金窓が今の丸六夫人なんだ」

「ふーむ」と夫人は頻りに首肯づく。

「そして其の [illegible] 男が所謂 [illegible] 六夫人の [illegible] 者に [illegible] のは [illegible] である」

[illegible]

「解つたらう」「解つた」

「で、其の以前迄は六夫人案山には [illegible] 夫人に對して彼が邸宅に陷入る事を禁止した」

「然うか、そりや夫人の了見が全く間違つて居る、近來の新實問題は別として以前の競爭者であつた其の男の宅に──例令妹分である女が居るにしろ訪ねるなんかは了見違ひも實に甚しい、兎に角罪を聞いてから [illegible] 御免を蒙るね」、わ [illegible] 宰相様にも君、[illegible] た遣り方ぢやな [illegible]

[illegible] 案山君も困るだらう、[illegible] 食つて居る譯に [illegible] 案山の了見さへ決すれば早速 [illegible] に引取るさ」[illegible] 夫人諾と返事をす [illegible] 香海居士に例の [illegible] 丁度其處へ案山 [illegible] 夫人 [illegible] 長らく居つた室り [illegible] 來る。

勅題選歌の決定

三面電報

勅題選歌左の如く決定したり

圖書寮主事 高島張輔

ふる雪をまつのみさかな月花の [illegible] 年のはじめに。

宮内省屬 片岡久太郎

[illegible] の雪をはしめにて [illegible] なほつもらなむ。

三重縣士族 堤盛 [illegible]

[illegible] しひと日は晴れせて [illegible] 松のうちかな。

愛知縣士族 長岡秋道

[illegible] はしめにうれしくも [illegible] し雪もふりけり。

長野縣平民 桑原保

[illegible] りくだけて若水を [illegible] くたまる響かな。

●懷姙二人の奴

孕むべく出來しと別に不思議はなけれども此の社會にては先 [illegible] が兹南山町花月樓の [illegible] の花月の抱わとて野 [illegible] もちやと呼ぶ左褄あり飛切りの代物には [illegible] なく其處は其の道の [illegible] 虫の諺の通り來るさ [illegible] には若龍よ、れもち [illegible] 呼び聲あり迄は何 [illegible] が借て其の呼び聲の [illegible] 國か夫れとも勤め氣放 [illegible] 肝にも無き操立てたが [illegible] 扱きはぞい處迄見て來 [illegible] 議除計な鑒議は別とし [illegible] い、若龍の二拍子 [illegible] る者を見ぬ事談となり [illegible] 目で外して居たりしが [illegible] て酢の物好み爲る樣

[illegible] になり恐らやらた膣も只ならぬに何でも大鑒ど盛なれど直樣れ醫者に驅け附て奈何〳〵と訊ぬれば全く妊娠何ケ月と動かぬスタンプ掃られてワッとも泣けず閉口の首捻りつゝ引退りしが親の心も知られ膣のねんねは次第〳〵に膨れ出し最うれ坐敷も勤まらぬよりつい先日より姙娠休業と云ふ譯有からぬ名目の元に目下引籠り自養中との事なるが抑も此の父御は何人やら數でこなした一山なれば中々詮議も六ケ敷かるべく何處か其處等の方々に飛んだ飛び火の往かぬとも限らぬ事身に覺ねある旦那樣は油斷は大敵ご用心〳〵

●嫉妬から亂暴

旭町二丁目百三十一番戸大工職大久保一三郎（三一）と云ふは昨日午後十時頃自宅にて朋友の新井御手洗の三人にて車座となり散々飮酒なしたるが軈て新井、御手洗の兩人は辭して歸りたる後も獨りにて大久保は醉もぐい〳〵と盛んに頂戴した果ては定まりの管を卷き始め遂には醉狂となつて亂暴を遣り出したるにぞ内緣の妻曾我部とく及實弟の幸吉二人は居たゝまらずして先きに歸り去りし滯町一丁目の素人下宿新井只一郎方に逃げ往きし處酒に狂したる大久保は擧覺御手洗と怪しき關係ある者と邪推なし跡追ひ驅けて新井の宅に躍り込み短刀を片手に振り翳してサア嚊アを返せ御手洗を出せと途方もなき暴行を始めし故家人は集つて弱つて同人を外面へ押し出したるに己が事は棚へ上げて今度は本町の交番へ出頭なし只今 番町一丁目の新井只一郎なる者の爲めに毆打されたれば御出張願ひたしと飛んでもなき訴へを爲しければ警官直樣出張の上取調べたる處前記の次第と分明せしかば兎に角妻トクに早速歸宅する樣諭せしも危險なれば明朝ならでは歸らじと云ひ張る爲め大久保の覺醒を待つて自宅に連れ歸る樣弟幸吉に飛告なして引取らしめたりとは困つた男かな

●露淫の大モテ

當地にて昨年露西亞の賣春婦二名が跋扈して盛に世の鼻下長連及好事者流を弄び一時此噂で持も切りの有樣なりしが右賣春婦の同じ仲間なるミスセス、メリー（二六）と云ふは釜山より太郎を經て此程仁川に來り仲町通り二丁目澁川書藥書店の隣なる元株林散髮店跡を借り受け表看板はビヤホールに体裁を作り例の甘つたるき口調にて行人を引張り込み誰彼の差別なく情の切賣を爲すものから開業以來千客萬來の姿にて先づ第一番乘りの功名を擧げたるは遂ひ近所の代書屋は某と呼ぶ親爺殿とはても醉狂な

●又々春畫沒收

仁川署の手に [illegible]

●道路防害二件

山口縣平民當時北米倉町住炭商岡部官一（三二）と云ふは去る十二日午前十一時頃明治町一丁目の街路に木炭を積載せる手車を放置して交通防害を爲せし拘にて警察處罰令違犯として科料三十錢▲德島縣平民現住明治町一丁目佐藤老助（三七）は去る十二月午後三時頃自宅前の街路に板切れ類を山の如く取散し爲めに交通を防害なしたるを以て是も同じく三十錢

●不埒な鹹泥棒

一昨廿日午後七時頃大和町一丁目山崎吾一方の表戸を引開け處を覘ぬる眞似をなし油斷を覘つて靴一足を竊ひ去りし一鮮人あり此の手の者甚だ少からざれば各自御用心

●衝突から格鬪

仁川京町二丁目菓子商松浦仲藏外二名の者は一昨日午後九時頃龍岡町一丁目に於て内鮮居住の洪亞麗外二名と衝突り爭論の上格鬪を始めたるが警官出張双方を説諭して引退らしめしと

●第二の食道樂

壽町 食道樂事さかへ家に於て料理番を引受け獨特の庖丁に好評を博し居れる相原事長唄の芳村榮十郎は客年合宜上同店を辭し來る二十五日より南山町二丁目（元にしき跡）に於てはつねと稱し色氣拔きの食道樂的料理店を開業せりと云ふ

●一昨日の新町

一昨十九日新町遊廓の水揚は遊客七十六名に對して三百九十五圓四十三錢の帳附

演藝

▲歌舞伎座 其後引續き喝采を博しつゝある同座本晩の出し物は前「花見時睦峨妖猫五十三驛」中「阿波の鳴戸た弓子別」一切「御所櫻辨慶上使」の三場にして其の重なる役割は如左

鍋島大領直政、老母れさ、か、女房れ弓（中村麗圓）後家れふじ、愛妾れ照の方、女房れあさ（中村梅玄）小守半左衛門、尼妙珍、侍從太郎（市川眼若）伊慶（中村麗三郎）左宮彌太郎、尼妙林、村市之丞後に伴東左右太、武藤坊辨妻花の井、中村菊三郎）龍造寺又七郎市之丞妻れさく（嵐吉麗）僧香念、小守半之丞、卿之君、腰元しのぶ（中村菊太郎）左宮彌太郎、茶道蝶齋（市川小文治）隅傳六郎（片岡當久次）田上刑部、茶道竹齋（嵐壽太郎）女房れかつ、青井軍藏（中村昇若）女房小仙、奥方花その、茶店娘れ國（寶川寶若）

▲平民文庫▼

▲八丁目心配生と名乘つて金文片假名で書かれた下の如き投書が來た、改き直して御披露する▲吉野町に石井と云ふ家がある其家の旦那たるや頗るのハ [illegible] ハ、ハ、ナで身分とも省みず藝者は御座れ女郎結構淫賣チョツ〳〵仲居は宜しいと云ふのであつたが近頃熱々考へた結果でもあらうか其の鉄鉢を下女のたに何に向け奥さんの眼を盜んで剛がな隊がな口説立てるけれども下何存外の堅造にて仲々に言ふ事を肯かぬのみか或る日の事遂に堪りかねて紹介人の方へ逃げて歸つた▲然るに一方石井の殿が執心は普通でない紹介人を呼び寄せて其の切なる思ひを打ち明けて然るべく媒合の勞を執らんことを哀願に及んだので紹介人も大ひに石井君に同情を寄せて目下れ何に食はすに影からぬ利を以てしてれ旦那石井君の意に從はすべく夜を日についでの奔走中である▲さるにても此の樣な奥さんである其樣ことゝは御存じなく天下泰平で居らるゝが一方下女のれ何がウンと頭を堅に振つたら太神宮樣へでも參詣してれ來でよと体よく排斥せらるゝ時である

とのことだ▲眞正か嘘かは保證の限りでない（風聞子）▲記者先生一寸伺ひ致します普通文官試驗（統監府執行）には未丁年者でも受驗が出來ますか伺ね申します（れ蒔生）▲受驗は出來ます（係）▲十九日の夜太平湯に入浴して居たら僕の鼻先へ眞正面に臀を突き附けて牛蒡の切り口を之れ見ろと計りに浴槽で顏を洗ひながらプウーイと行つて置きながら御免とも云はずケロリとして居た人があつたが可笑しくもあり腹も立つたが何分にも臭いので恐れもしなかつたが人と云ふものは何處で何んな災難に逢ふこせやら判らないもんだ（悟丁生）▲誠く感心したもんですね（小僧）▲私が牛乳配達をなすに凹地に這入つては足を痛め水溜りに差し込んでは足を汚します實に道路は其の國の運命を代表するものではないかと考へて其の邊に彷徨てる鮮人を見ると頭を張り倒し度い樣な氣がする（憤慨生）▲長谷川町の兵營は壁を塗り直されたので見違へる程立派になつた内部は何うかしら兎に角居室だけは清潔になつて居るに相違なからうが營内に花園など設けて輪番に播種栽培せしめる程にことをするも一種の慰藉法であらうと思ひます（通行人）▲牛肉や鷄卵が段々高くなるのは心細い養鷄や畜牛を奨勵して欲しい（自炊男）

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判

一月廿一日月齡十二回の十丙戌二黑先負納大かん△一白 寂退の日なり新事見合の事保證受印及連帶事を禁ず△二黑 謹愼を要すべき日なり盜害遺失酒色爭論を忌むべし△三碧 不得要領の日なり又過失懈怠を生じ易し△四綠 [illegible] 金品授受取引賣買上紛紜起り易し△五黃 尊大體を失して交際上の破れあり保證受印を禁ず△六白 快欣の日なり大抵の事吉儀山農業には大に妙△七赤 利益を得又は勢力を增進する日なり殊に子孫の爲に計る事尤も佳△八白 島移動に類する事凶家庭内に紛亂わる勿れ△九紫 平凡の日なり旅行轉移凶 改

美術半襟帶締其他紐類各種

京城明治町一丁目 電話一千四百〇九
ゑり德商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●年齢十五歳位の小供入用 希望者は來談ありたし 三井物產京城支店

●小僧入用 十五歳より廿歳迄の男子三四人入用但し市内に確實なる身元引受人あるもの 辻屋本店

●寫字並室内製圖熟練の者至急御依頼に應じ度し望の方は下名へ 太平町二丁目廿三番戸岸田

●多少法律事務並に韓語の心得ある二十歳前後の書生一人雇入たし 姓名在社

物件部

●貸家 西大門内佛國領事館隣六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし 同所消水方へ

●電話讓渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 贇化堂藥店

●老舗讓渡 本町一丁目拔の場所多年賣込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居拔の儘至急讓渡したし 旭町一の六〇 山村

廣告

營業擴張廣告

土地家屋並に商品擔保

右は秘密確實最低利に取扱可申候所續々御申越被下度候短期は日歩にて相談に可應候下記御便利の箇所へ電話又は端書にて御申越被下候へば早速罷出可申候

質金業

京城竹園町二丁目 樋下田本店（電話九三二番）

京城相生町（南大門通魚市場東裏） 樋下田支店（電話一四三九番）

龍山清水町六十三番戸 樋下田支店（電話四〇四番）

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

石川高等法院判事閣下校閲
今村内部警務局警視閣下校閲
日韓印刷株式會社編輯部編纂

◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利

●全一册●紙數凡六百頁●菊判半截形●定價金六十錢

右發賣豫報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層需要者の便を計り官制、官規、官等の級及俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日の現行法規として些の遺漏なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、餘白を存して隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御高需に應じ可申此際續々御用仰せ付けられ度準願上候敬具

明治四十二年十二月一日

京城 日韓印刷株式會社出版部

辯護士 特許辯理士 岩田仙宗

京城明治町二丁目（佛國教會前） 電話三五四番

◎新漬大根大賣出

◎新漬澤庵◎白菜漬◎奈良漬

農商工部御用 統監府御用 宮內府御用
官衙學校製藥農場其他諸官衙御用品 消毒用藥品一式 度量器具一式。肥料。種苗。薪炭。日用雜貨。家具。工業農業

諸官衙御用達 三輪商會

京城本町一丁目（長谷川町筋） 電話三八六番

くつさき たびさき 毛布 かいき まわた類 防寒用各種

またわ製

如何なる小さき足袋を用ゆるも差支なし

代理店 栗永商店

京城本町一丁目（長谷川町へ通る）

外科 内科

梅毒痳病專門 戶田病院

京城御成町南大門外一丁南 電話番號九三八番

入院隨意

中島醫院

京城壽町三丁目（電話三七八番）

院主醫學得業士 中島貞信

御待合 新築開業

京城永樂町三丁目永樂湯前 松月

電話二三四五番

馬車配達

●●●滋養と牛乳●●● ●●●衛生と消毒●●●

純良牛乳

京城東四軒町 岡野牧場

電話番號〇六九番

三一館

熱心篤志多年爲斯道於涸微髓奥旨悅然似有得者雖聽素面輕薄也

京城本町五丁目 島斷易 相教授 館主 土御門派大陰陽師

待[illegible]日

合のし[illegible]

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店

米國ウオルサム時計
米國アンソニヤ時計
獨逸國スカンジヤ自轉車

韓國特約販賣店

時計卸商 喜多金光堂本店

仁川本町三丁目 電話七五〇番

時計卸小賣 喜多金光堂支店

京城本町二丁目 電話千十五番

綿 わたワタ

たやすくうります

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類

御問屋 唐川商店

京城明治町一丁目四ツ角 電話二六一番

上等石炭各種 並に無煙炭販賣

京城本町二丁目 林田交換所（電話六十五番）

韓國銀行

本店用 電話（長）三一〇
當座用 電話（長）三六二
度支部國庫課用 電話 一三六一
來客用 電話 一三三〇
臨時建築部 電話 三〇二二

支店出張所

仁川、平壤、元山、大邱、鎮南浦、群山、木浦、馬山、咸興、城津、義州、開城、安東縣

爲替取引先

東京、大阪、横濱、神戸、京都、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、（以上日本）釜山、公州、光州、晋州、海州、沙利院、博川、寧邊、（以上韓國）大連、（清國）

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候 御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候

原金旅館

京城南山町四丁目 （電話一一一五番）

荒物世帶道具一切

大阪合製白絞油和洋蠟燭 和傘岐阜提灯魚釣道具

御小賣

地方在住の各位には御申越あり次第代金引替證付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候

荒物世帶道具 各國諸油米穀 銘酒澤龜アサヒサツポロ麥酒 並に買次業

合西崎嘉七本店

京城本町六丁目 電話長二一〇 電略（ニカ又はニ） 振替貯金口座東京（九四一七番）

資本金 一千萬圓 積立金 五百十萬圓

株式會社第一銀行京城支店

電話一一番 六一一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

本店 東京市日本橋區兜町

支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大阪町（東京）、兵庫、伏見、西區（大阪）、釜山、

其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

蒸汽消毒 牛乳 平山牧場

京城大和町三丁目 電話一三三

御待合 紅葉

京城南大門通三丁目光宣門側 電話一三八二番

位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切にし御手輕を專一と心懸け候

改修落成と電話開通

久しく改修中の處漸く落成仕候間不相變御贔負の程願ます

京城旭町二丁目（名古屋城横へ入る） 待合 醉月

電話二六五番

唐津石炭直輸入商

並ニ平壤無煙炭あり

京城太平町一丁目九五（南大門高等女學校裏通り） 近藤商店

電話八百三十五番

大上商店

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目 （電話二五一番）

利洋酒、罐詰、穀物、麵類、銘茶、罐詰、乾物、物食料品、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽、荒種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候各

株式會社百三十銀行韓國支店

京城本町二丁目十五番戸 電話五十八番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、堺、山田、八木、高田、田原本、郡山、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市

東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪

東山道 宇都宮、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、松本、青森、秋田、能代、仙臺、若松

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟、高岡

山陰道 米子、松江、久手、大田、鳥取

山陽道 玉島、福山、姫路、西大寺、笠岡、廣島、岩國、山口、柳井、府中、尾の道、三原、下關、赤穗、長府、平生、牛窓、味野、笠見、岡山

南海道 尾道、高松、丸龜、多度津、今治、西條、松山、三津ヶ濱、川之石、宇和島、新居濱、和歌山、田邊、新宮、德島、撫養

西海道 博多、福岡、若松、門司、小倉、中津、佐伯、別府、大分、熊本、佐賀、長崎、佐世保、長洲、伊萬里、鹿兒島、宮崎、久留米、若松、飯塚、直方、行橋

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、臺南

清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、群山、大邱、晋州、全州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

★

韓國 日本

本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
出張所 大阪、佐世保、平戶、五島、對馬、...

其他日本、韓國樞要地、及滿洲に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）

長崎貯蓄銀行代理店 （十八銀行京城支店）

株式會社十八銀行京城支店

京城南大門通 （電話四二〇）

資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾萬圓

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告

仁川海岸通 電話三九番

貨物及船客取扱店 郡回漕店

●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 一月 後三時出
●大連、行 高砂丸 一月十八日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月三十日午前六時出
●大連行 酒田丸 二月三日正午時出
●釜山出帆 元山、浦潮、城津行 立神丸 一月廿六日午後時出

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事